



過去の自分: 人見知りで周りの目が気になり、自分に自信が持てませんでした。今でもよく過去を振り返り、「ああすればよかったな」と後悔することが多い反面、周りの友だちにはいつも恵まれていました。

現在の自分: 保育士になりたいという夢を叶え、たくさんの出会いや経験をして学んだり悩んだり笑ったり考えたりと充実した日々を過ごしています。人見知りで周りにどう思われているか、自分に自信が持てないところは変わっていません。ですが、この仕事をしてから意識が変わったこともあります。子どもたちにとって“先生”という存在である私は、子どもたちの見本であり、身近な大人です。遊具で遊ぶ時、私を見本を見て見本通りに遊び始める子どもたち。「〇〇だから〇〇しようね」という声掛けをするとすぐ覚えて、「〇〇だから〇〇だよね」という子どもたち。私の言葉一つで嬉しい表情にも悲しい表情にもなる子どもたち。正解か間違いか答えは分かりませんが、私の言動一つ一つが子どもたちの姿に反映されることを強く感じる毎日です。学生とは違い、自分で考えて行動しなければならないことも増え、自分の行動に責任を持たなければならないことも増えました。保育教諭である私は子どもたちの一番近くで過ごし、その成長や思いに気づくことが出来、楽しいことから悲しいことまで共有できる存在です。子どもたちと過ごす毎日は、自分自身を成長させてくれる貴重な時間でもあります。年を重ねるにつれ感じることは、“周りの人への感謝”です。失敗したとき助けてくれたり守ってくれる、悩んだり落ち込んだ時に話を聞いてくれたり一緒に考えてくれる、楽しいことを共有し悲しいことに共感してくれる、そんな人たちが私の周りにはたくさんいます。家族、友だち、園の職員、そして子どもたちが、心の支えであり拠り所です。今は助けられてばかり、してもらってばかりの私ですが、子どもたちを含め私の周りにいる人の心の支えや拠り所になれる存在になりたいです。

未来の自分が、もし今回と同じ『過去・現在・未来の自分』というテーマを考える機会があったら、その時今を振り返った時に人として成長した自分であれるように、また一つでも自信を持てる場所が増えていくように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

(2019年12月)

